

平成29年度(第3期)高知ヘリテージマネージャー・サポーター養成講座カリキュラムと講師紹介

No.	日程	会場	テーマ	内容	時間	講師	講師紹介
1	8月5日 土曜日	ふくし交流プラザ	オリエンテーション	養成講座について	1	実行委員会	依光成元委員長ほか
			法規・規則・制度1	登録有形文化財申請時の画像処理	1	県文化財課	高知県教育委員会事務局文化財課 専門企画員(文化財担当)廣田佳久
			ヘリテージマネージャー概論	ヘリテージマネージャー・サポーターの養成と意義	4	沢田 伸	ひょうごヘリテージ機構H <sup>2</sup> O代表世話人 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会 運営副委員長 (公社)兵庫県建築士会 ヘリテージ委員
2	8月26日 土曜日	竹林寺書院外	演習1	登録有形文化財の現地演習	6	公文大輔	高知県土木部住宅課 日本民家再生協会 代表理事
3	9月2日 土曜日	自由民権記念館 (研修室)	高知県の文化財	高知県の文化財建造物概要	2	後藤孝一	一般社団法人 日本建築学会 四国支部副支部長 公益社団法人 高知県建築士会 高知支部副会長 紙工房 代表
			修復概論	文化財の設計・修復	4	嶋村明彦	亀山市市民文化部文化振興局 局長
4	10月7日 土曜日	高知高専	法規・規則・制度2	文化財保護法と登録有形文化財の申請	2	県文化財課	高知県教育委員会事務局文化財課 専門企画員(文化財担当)廣田 佳久
			建築史	伝統的建造物の技法	4	後藤 治	工学院大学 常務理事 工学院大学建築学部建築デザイン学科教授 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会運営委員長
5	11月11日 土曜日	高知高専	耐震構造設計	文化財建造物の耐震補強	2	山本幸廷	山本構造設計事務所
			文化財と防災	文化遺産と防災	2	大窪健之	立命館大学 理工学部 都市システム工学科教授 京都府建築士会理事
			文化財建造物の耐震対策	過去の地震に学ぶ	2	文化庁	文化庁文化財部参事官(建造物担当) 震災対策部門 西岡 聡 調査官
6	12月9日 土曜日	安芸市土居廓中	伝統的建造物の工法1	土佐漆喰	2	中脇修身	香美市・四万十市文化財保護審議会委員 元四国職業能力開発大学校教授
			演習2-1	文化財保護事例視察	4	安芸市教委	安芸市歴史民俗資料館 仙頭由香利
7	1月13日 土曜日	自由民権記念館 (研修室)	法規・規則・制度3	建築基準法の歴史・現行建築基準法	2	県建築指導課	幡多土木事務所 総務課 チーフ(建築指導担当) 永野修
			まちづくり1	古民家再生	2	オ本謙二	有限会社才本建築事務所 代表取締役 関西大学建築学科非常勤講師(2003~2006・2010~2011) 兵庫ヘリテージマネージャー、篠山市まちなみアドバイザー
				歴史を活かしたまちづくりの現状と課題	2	塩見 寛	Kei_まちづくりネットワーク代表 静岡県ヘリテージセンターSHECセンター長 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会 運営副委員長
8	1月20日 土曜日	高知高専	伝統的建造物の工法2	瓦	2	村山廣典	葺師、(一社)全日本瓦工事業連盟 高知県瓦屋根工事業組合相談役、有限会社 村山瓦
		安岡家住宅	演習2-2	指定文化財修復現場視察と演習	4	文建協	公益財団法人文化財建造物保存技術協会 重要文化財安岡家住宅主屋ほか5棟設計管理事務所 辻田芳典 所長
9	2月4日 土曜日	赤岡町赤れんが商家	演習3-1	絵金のまち赤岡町家再生活用プロジェクト	2	北山めぐみ	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 助教 兵庫県ヘリテージマネージャー
		香南市赤岡市民館		歴史的資源の活用例	4	金野幸雄	一般社団法人ノオト 代表理事 元篠山市副市長 元流通科学大学特任教授
10	2月17日 土曜日	建設会館	まちづくり2	高知県のNPO活動事例	2	溝渕博彦	高知県文化財保護審議会委員 NPO高知文化財研究所代表 (株)AREA代表取締役
			演習3-2	課題発表と討論及びレビュー	3	建築士会	後藤孝一ほか
			修了式	修了証の授与	1	実行委員会	依光成元委員長ほか
合計					60		

注1) 1日の講義時間は10:00~12:00と13:00~17:00の6時間です。

注2) ヘリテージマネージャーは全講座、ヘリテージサポーターは網掛けの講座を受講する必要があります。なお、ヘリテージマネージャーの登録には建築士(一級、二級、木造)の資格が必要です。

注3) 講師についての詳細は高知県建築士会のホームページ(<http://www.k-shikai.or.jp/>)をご覧ください。

注4) 都合により日程、講師、講義内容、会場等が変更になる場合があります。

注5) 連絡は電子メールで行いますので、メールアドレスが必須で、かつ文書を添付したメールを受信できる環境が必要です。

注6) ヘリテージマネージャー課程は、MicrosoftWordが使用できる環境が必要です。

注7) 平成30年度は状況に応じて開催します。